

VCGCAD タイトル日本語
-VCGCAD Title English-
-VCGCAD サブタイトル日本語-
-VCGCAD Subtitle English-

著者太郎 † 著者次郎 ‡ 著者花子 ‡
Taro TYOSHA†, Jiro TYOSHA‡ and Hanako TYOSHA‡

† 画像大学工学部 † Faculty of Engineering, GAZO University

‡ 情報株式会社開発部 ‡ R&D Division, JOHO Corporation

E-mail: †taro@gazo.ac.jp, ‡{jiro,hanako}@johoj.co.jp

1 原稿の提出形態

提出原稿のファイル形式は「PDF」です。「PDF」での原稿作成の際は、すべてのフォントを埋め込んで (embed) 事務局でヘッダやページ情報の追加記載が可能なおようにご配慮下さい。tex からは dvipdfmx や ps2pdf を利用して pdf を作製できますが、もし、PDF ファイルでのご提出が難しい場合は、事務局にご相談下さい。

2 レイアウト

2.1 タイトルその他 (1 ページ目上部) に関して

予稿の 1 ページ目上部には、タイトル、発表者氏名、所属の和文と英文、およびメールアドレス (任意) をそれぞれ記述してください。

2.2 本文に関して

本文は 2.1 の「タイトルその他」に続けて記述してください。本文は必ず左右 18cm、天地 25.5cm 以内の長さにおさまるようにしてください。本文は 9 ポイント活字を標準とし、字間および行間は適宜調整して 25 文字 46 行 2 段 / ページを目安にしてください。

2.3 図表、写真に関して

図表、写真も電子データで提供下さい。図面、写真、表の中の文字や数字も本文と同じ大きさとなるようにしてください。

3 著作権について

Visual Computing / グラフィクスと CAD 合同シンポジウム予稿集に掲載される論文の著作権は画像電子学会、情報処理学会ならびに映像情報メディア学会に帰属します。

詳細は以下のとおりです。

1. Visual Computing / グラフィクスと CAD 合同シンポジウム予稿集に掲載される論文等の著作権 (著作権法第 27 条および第 28 条に定める権利) は、画像電子学会、情報処理学会ならびに映像情報メディア学会の 3 学会 (以下、共催学会) に一括して譲渡され、共催学会の共有となる。
2. シンポジウム予稿集に投稿された論文等について、当該論文等の著作者が著作権の共催学会への譲渡を拒んだ場合には、当該論文等の予稿集への掲載を拒否できる。
3. 共催学会である各学会は、互いの学会の承諾を得ることなく、当該論文等を出版し、CD-ROM 等の媒体を作成・販売、Web サイトへの掲載等の任意の方法で、これを利用できる。なお、Web サイトへの掲載等、当該論文等を広く頒布する場合には、本会議開催から概ね 1 年間の経過を要するものとする。
4. 第三者から、当該論文等の複製、翻訳、翻案、電子的形体での利用に関する許諾の要請がなされた場合には、許諾の可否および許諾に係る利用範囲については情報処理学会が決定する。
5. 著作者は、当該論文等にもとづいて、その一部を利用して他の論文誌等に自由に投稿する権利を有する。
6. 著作者は、当該論文等について、シンポジウム予稿集の発行の前後に拘わらず、著作者個人ないし著作者所属組織の Web サイトにこれを掲載する権利を有する。ただし、掲載に際しては、本シンポジウムにかかる出典を明記しなくてはならない。
7. 著作者が、当該論文等を前 2 項以外の形態で利用しようとする場合には、共催学会のいずれかに事前に申し出を行なったうえで、当該学会の指示に従うと

ともに、利用する著作物中において本シンポジウムにかかる出典を明記しなくてはならない。

以上のとおり、シンポジウム予稿集に掲載される論文等の著作権は、共催学会に帰属することとなりますので御了承願います。

4 発行日について

著作権保護に関わるシンポジウム予稿集の発行日は、シンポジウム開催初日とします。

問合せ先：

画像電子学会事務局

〒116-0002 東京都荒川区荒川3丁目35番4号

ライオンズマンション三河島第二 101号 (事務局)

TEL:03-5615-2893 FAX: 03-5615-2894

e-mail:kikaku@iieej.org

[10] (国際会議の場合) 著者名, “表題,” 会議名, no. を付けて論文番号, pp. を付けて始め-終りのページ, 都市名, 国名, 月 (英語) 年.

[11] (国際会議例) Y. Yamamoto, S. Machida, and K. Igeta, “Micro-cavity semiconductors with enhanced spontaneous emission,” Proc. 16th European Conf. on Opt. Commun., no.MoF4.6, pp.3-13, Amsterdam, The Netherlands, Sept.1990.

[12] (国内大会, 研究会論文集の場合) 著者名, “標題,” 学会論文集名, 分冊または号, no. を付けて論文番号, pp. を付けて始め-終りのページ, 月 (英語) 年.

[13] (国内大会, 研究会論文集例) 川上三郎, 川口四郎, “紫外域半導体レーザ,” 2001 画像電子学会年次大会, 予稿集, 一般セッション 14, pp.20-21, Jun.2001.

参考文献

- [1] (雑誌の場合) 著者名, “標題,” 雑誌名, 巻, 号, pp. を付けて始め-終りのページ, 月 (英語) 年.
- [2] (雑誌例 1) 山上一郎, 山下二郎, “パラメトリック増幅 [1] 器,” 画電学会誌, vol.31, no.1, pp.20-27, Jan.2002.
- [3] (雑誌例 2) W. Rice, A. C. Wine, and B. D. Grain, diffusion of impurities during epitaxy, Proc. IEEE, vol.52, no.3, pp.284-290, March 1964.
- [4] (著書, 編書の場合) 著者名, 書名, 編者名, 発行所, 発行都市名, 発行年.
- [5] (著書, 編書例 1) 山田太郎, 移動通信, 木村次郎 (編), pp.21-41, 画像電子学会, 東京, 1989.
- [6] (著書, 編書例 2) H. Tong, Nonlinear Time Series: A Dynamical System Approach, J. B. Elsner, ed., Oxford University Press, Oxford, 1990.
- [7] (著書の一部を引用する場合) 著者名, “標題,” 書名, 編者名, 章番号または pp. を付けて始め-終りのページ, 発行所, 発行都市名, 発行年.
- [8] (著書の一部引用例 1) 山田太郎, “周波数の有効利用,” 移動通信, 木村次郎 (編), pp.21-41, (社) 電子情報通信学会, 1989.
- [9] (著書の一部引用例 2) H. K. Hartline, A. B. Smith, and F. Ratliff, Inhibitory interaction in the retina, in Handbook of Sensory Physiology, ed. M. G. F. Fuortes, pp.381-390, Springer-Verlag, Berlin.